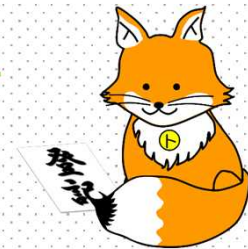


大分地方法務局先輩職員からのメッセージ



戸籍課長
(平成3年度採用)

現在の仕事内容は？

戸籍・国籍事務に関する業務を担当しています。
戸籍事務は市区町村で取り扱われていますが、全国統一的な取扱いを維持するため、法務局から市区町村に助言や勧告などを行っています。
また、外国人の帰化許可申請の審査等の国籍事務を行っています。
その他、成年後見登記に関する証明書の交付業務も担当しています。

これまでの勤務地と印象に残った業務は？

採用は地元に近い支局で、その後、県内外の本局や支局を経て現在に至ります。
これまで経験したどの業務も思い出深いのですが、採用されて20年目に初めて県外勤務をしたことが特に印象に残っています。
知らない土地と知らない人たちの中、久しぶりの不動産登記事務で四苦八苦しましたが、上司や同僚から、本当にたくさん助けてもらいながら乗り切った数年間でした。

仕事をする上で大事にしていることは？

「みんな違ってみんないい」という言葉が好きで、公私ともに大切にしてお過ごしていたいと思っています。

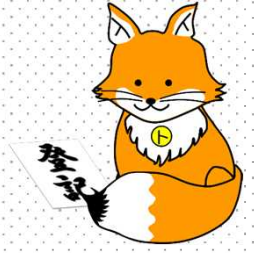
法務局に興味を持っている皆さんへ

法務局という名前だけでは、どんな仕事をしているのかさっぱり分からないと思います。
法務局の所管業務は様々な分野にわたっていますが、このメッセージでは到底伝えきれませんので、ぜひ一度、業務説明会においでください。
「国民の権利と財産を守る法務局」の業務を知ることが、あなたの人生に必ず役に立ちます。お待ちしております！



**業務説明会・官庁訪問の情報は、
大分地方法務局ホームページの採用情報に
随時掲載しています！**

大分地方法務局先輩職員からのメッセージ



登記情報システム管理官 (平成3年度採用)

現在の仕事内容は？

主に不動産登記と商業法人登記両方のシステムの運用管理を担当しています。

具体的には、迅速なコンピュータ処理のほか、司法書士や官公署から提出される登記申請は多くがオンラインで申請されるため、システムの安定稼働を常に維持する必要があり、システム保守、職員操作支援、プログラム更新作業、障害時の対応などを行っています。

これまでの勤務地と印象に残った業務は？

現在の大分局のほか、福岡・熊本・鹿児島局で勤務しました。

県外勤務は、こどもが大きくなってからであり、特に生活に支障が生じるような異動はありませんでした。

仕事は、ほとんどの部署を経験させてもらいましたが、印象に残っている業務の一つとして挙げるのは、地図作成作業です。

法務局では、土地の位置や形状、土地と土地の間の境界線を明確にするため、精度の高い測量を行い、正確な地図の作成・管理を行っています。

担当となった際は、地域住民や関係者との打合せ、境界立会の日程調整など、職員以外の多くの方と連絡・調整をしながら作業を進めていくなど、大変な時期もありましたが、大変やりがいのある仕事だと感じました。

仕事をする上で大事にしていることは？

業務には大小様々な質や量があり、期限も異なります。

作業をできるだけ細分化することで、毎日の達成感を得ることができず、スピーディに作業が進むようになり、仕事以外にも力を入れることができます。

法務局に興味を持っている皆さんへ

法務局の仕事は、訟務や人権だけでなく不動産登記、商業法人登記、戸籍、供託、自筆証書遺言書保管など、やってみるととても面白い業務がたくさんあり、法律知識も深まります。

業務以外では、野球・テニス・バドミントンなど、九州各県対抗の大会も毎年開催されており、県外の職員との交流もあります。

お会いできることを楽しみにお待ちしております！



是非、私たちと一緒に
大分地方法務局で働いてみませんか？

